

玄葉外務大臣発メメディヤロフ外相宛祝賀メッセージ

アゼルバイジャンと我が国との外交関係樹立二十周年に際し、心からお祝い申し上げます。

アゼルバイジャンの独立以来、両国間では極めて良好な関係が築かれてまいりました。最近では、昨年三月の東日本大震災に際して、アリエフ大統領や閣下をはじめ多くの方々から温かいお見舞い・励ましのお言葉と御支援を頂きました。改めて感謝致します。

豊富なエネルギー資源の輸出先多様化を追求し、近年目覚ましい経済成長を遂げたアゼルバイジャンは、南コーカサス地域の安定的発展の担い手であり、我が国の重要なパートナーです。これまで我が国はアゼルバイジャンと緊密な対話を行い、その国造りに協力しつつ、友好関係を育んできました。

現在、両国は政治・経済両分野において極めて良好な協力関係を築き上げております。特に、政府間対話に関しては、二〇〇九年の閣下の訪日の際に達成された合意に基づき、現在、両国外務省間で定期的に政務協議が行われており、これは二国間の協力関係の強化と相互理解の深化に大きく貢献してきています。

また、経済面では、これまで日本企業が貴国の石油開発プロジェクトに参画してきたことに加え、最近では、貴国が追求する石油化学工業やインフラ整備等の発展に関心を示す日本企業が出てきており、両国の経済関係が更に拡大・発展する可能性は高いと期待しております。

国際場裡においても、本年より国連安保理非常任理事国として重要な役割を務めているアゼルバイジャンと我が国との協力が、一層発展することを期待しております。

さらに、「GUAM+日本」に関し、本年GUAM議長国を務めるアゼルバイジャンとの協力は特に重要です。この枠組みにおける協力を一層推進すべく、閣下と共に努めていきたいと考えております。

外交関係樹立二十周年を契機とし、今後もアゼルバイジャン、アゼルバイジャン国民との関係が更に深化し、発展することを期待しております。閣下の御健康と御活躍並びにアゼルバイジャン国民の御多幸を祈念いたします。

平成24年9月7日
日本国外務大臣 玄葉 光一郎

アゼルバイジャン共和国外務大臣
エルマル・メメディヤロフ 閣下